

講義名：世界市民－東アジアの近現代史 01＜春＞		ナンバリングコード：0	
担当教員名：三宅 亨			
研究室：聖アンデレ館7階709号室		オフィスアワー：授業前後	メールアドレス：toru@andrew.ac.jp
授業形態			
講義・演習概要			
この講義では、明治維新以後の東アジア（日本・中国・台湾・朝鮮半島）の歴史をグローバルな視点から扱う。太平洋戦争が終わって70年を経た今日、戦争を知らない世代が大多数を占めるようになってきた。近隣諸国との関係が必ずしも良好とはいえない今こそ、もう一度過去を振り返って、現代の諸問題の根源を東アジアの近代史の中に求めることによって、近隣周辺国との関係改善と協力関係の構築のために何をすべきか、何かできるかを考えてみたい。 春学期は、明治維新からアジア・太平洋戦争までを扱う。 ただ、漫然と講義を「聴く」のではなく、「考える」という姿勢で臨んでもらいたい。			
学習目標			
グローバル化する社会の中で、明日に向かって進むうえで、日本だけでなく周辺諸国・地域の昨日（過去）を知ることが大切である。過去約150年間の東アジアの歴史を知り、理解し、未来を考えること、これがこの講義の最低限の目標である。			
講義・演習計画			
【第1回】 1. 講義の概要 2. 受講にあたっての注意 3. 「異文化を理解する」・「歴史を知る」			
毎回、資料を配布するが、欠席した場合に後で配布することはない。			
【第2回】 明治初期の東アジア（1）			
【第3回】 明治初期の東アジア（2）			
【第4回】 廃藩置県と琉球処分			
【第5回】 日清戦争			
【第6回】 日清戦争後の東アジア			
【第7回】 日本統治下の台湾			
【第8回】 日露戦争と韓国併合			
【第9回】 20世紀初めの東アジア			
【第10回】 日本統治下の朝鮮			
【第11回】 満州事変と「満州国」			
【第12回】 日中戦争（1）			
【第13回】		日中戦争（2）	
【第14回】 アジア・太平洋戦争（1）			
【第15回】 アジア・太平洋戦争（2）			
成績評価の方法			
試験	70%	レポート	出席 30%
コメント	毎回講義の終わりに課題を与え、その場で解答を提出してもらう。ただ出席するだけでは、評価はつかないので注意すること。正当な理由なくして4回以上欠席した場合、学期末試験を受けることはできない。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	プリント配布	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
授業中に、その都度指示する。			
事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間）			
あらかじめ配布した資料を熟読しておく。			
その他備考（担当教員用）			
キーワード			
備考（管理者用）			